

日本語の濁音・半濁音・清音を混同して発音する

中国語母語話者の問題について

—誤用例、原因と、その矯正方法のヒント—

Suggestions on How to Avoid Mispronunciation

How and Why Chinese Learners of Japanese often Pronounce

[b] as [p] and [p] as [p^h].

池田 英喜

In this article, I discuss common pronunciation mistakes that Chinese learners of Japanese make when they read Japanese sentences. I organize it into three arguments.

- 1) Common mistakes in pronunciation when they pronounce [ba][be][bo] as [pa][pe][po] unknowingly.
 - 2) The mechanism of how they often pronounce the voiced labial explosive consonant [b] in Japanese as a voiceless un-aspirated labial explosive consonant [p] and also pronounce the voiceless labial explosive consonant in Japanese [p] as the voiceless aspirated labial explosive [p^h]. In this section I also discuss the reasons behind why they make these mispronunciations.
 - 3) How they can acquire correct Japanese pronunciation in labial consonants.
-

【キーワード】 無声破裂音 有声破裂音 無気音 有気音

0. はじめに

日本語を学習する中国語母語話者には、しばしば見られる日本語発音上の共通の間違いがいくつかある。本稿では、その中の有声無声の破裂音の間違いについて、1) どのような間違が見られるのか、2) なぜその間違いが起こるのか、3) どうすれば間違った発音の矯正ができるのか、の3点を提示したい。ただ、音声学に馴染みのない人には「有声・無声の破裂音」と言われてもなかなかピンとこないかもしれない。また、「語彙・文法には興味、馴染みがあるが、音声にはほとんどない」といった日本語教育関係者も少なからずいるという残念な事実を踏まえ、実際は破裂音以外の音も含むことになるのを承知の上で、本稿では敢えて「濁音と半濁音・清音の区別」として議論を進めることをご理解いただきたい。

1. 実際に起こる間違い例

まず上述 1) について、学習者が実際に犯した清音・濁音の違いを本節では示す。以下に見られる間違い例は、私が実際に担当している日本語の初級（日本語学習歴ゼロで、3か月学習）・上級（N1習得済み）各クラスで見られた実例である。学習歴ゼロのクラスでは、与えられたテキストを暗唱した際に、上級クラスでは、与えられたテキストを音読するという練習の中で出現したものである。

1.1. 清音を濁音として発音する場合

以下の間違い例では、直感的に音を感じていただくために、通常の日本語ひらがな表記とは異なり、長音を横棒で示した。

学習歴ゼロの間違い例

- ① そぼど りょーしんど あにど いもーどど
(祖母と 両親と 兄と 妹と 清音>濁音)
- ② なりだかった (なりたかった 清音>濁音)
- ③ さんばしました (散歩しました 清音>濁音)

上級学習者の間違い例

- ④ いっしゅーがん (一週間 清音>濁音)
- ⑤ はりつけである (張り付けてある 清音>濁音)
- ⑥ おぼかたさん (おぼかたさん 清音>濁音)
- ⑦ けーだいでんわ (携帯電話 清音>濁音)

1.2. 濁音を半濁音または清音として発音する場合

学習歴ゼロの間違い例

- ⑧ ぼーえきがいしゃ (貿易会社 濁音>半濁音)

上級学習者の間違い例

- ⑨ お・ばーさん (おばーさん 濁音>半濁音)
- ⑩ し・ばかりに (柴刈りに 濁音>半濁音)
- ⑪ た・ぺることに (食べることに 濁音>半濁音)
- ⑫ し・ぼーした (死亡した 濁音>半濁音)
- ⑬ い・け・ぷくろ (池袋 濁音>半濁音)
- ⑭ ちちんの (知人の 濁音>清音)
- ⑮ れんこーが (連合が 濁音>清音)

日本語の濁音・半濁音・清音を混同して発音する中国語母語話者の問題について
—誤用例、原因と、その矯正方法のヒント—

- ⑩ こーかくな (高額な 濁音>清音)
- ⑪ ほりこめさん (ほりごめさん 濁音>清音)

※「・」は、音の連続性が途絶えたことを示す。

1.3. 清音を半濁音として発音する場合

- ⑫ じゅーごぷんごろ (十五分ごろ 清音(摩擦)>半濁音(破裂))

1.4. 間違いの傾向

単純に間違い例だけを見ると、清音を濁音で発音する場合、濁音を半濁音で発音する場合、清音を半濁音で発音する場合の3パターンが見られた。非常に限られた例なので統計的なデータ処理をした上で「実証」できるものではないのだが、よく観察すると、そこには明らかな傾向が見られる。この傾向は、これまでの私自身の中国語母語話者留学生の指導経験とも合致している。以下、場合に分けて観察する。

1.5. 清音または半濁音を濁音で発音してしまう場合の傾向

タ行音の「タ・テ・ト」が、ダ行音「ダ・デ・ド」で発音される。

誤用例①②⑤⑥⑦

パ行音の「ポ」が、バ行音「ボ」で発音される。

誤用例③

カ行音の「カ」が、ガ行音「ガ」で発音される。

誤用例④

初級・上級に限らず、最も顕著に見られる間違い例は、タ行音をダ行音で発音するという間違いである。歯茎無声破裂音[t]を歯茎有声破裂音[d]で発音してしまうのは、これらの語が出現する環境が大きく影響していると思われる。

以下に実際の音声を記すが、IPA表記に馴染みのない人のために、基本的にはローマ字で記してある。ただし長音は母音を繰り返して記し、「ん」(日本語音素/n/)は出現環境により、両唇音前に出現する場合は[m]、それ以外は[N]と記した。問題となる濁音と清音を間違えている個所は、その子音を{ }で挟んで記した。アクセントについては、高い音で発音された個所の音を□で囲んで記した。

同じ母音に挟まれている

そぼど □so bo {d}o

いもーどど i □moo {d}o {d}o

カ行音とタ行音が連続して出現する

なりだかった na □ri {d}a kat ta

はりつけである ha ri tsu ke {d}e a ru
 おぼかださん o bo ka {d}a saN
 けーだいでんわ kee {d}ai deN wa

鼻音の前後

りょーしんど ryo-o shiN {d}o
 あにど a ni {d}o
 いっしゅーがん ish shu-u {g}aN
 さんぼしました sam bo shi ma shi ta

間違いが出現するのは、同じ母音に挟まれて出現する場合（ここでは[o]）、力行音とタ行音が連続して出現する場合、そして鼻音の前後といった環境であることがわかる。

1.6. 濁音を清音または半濁音で発音してしまう場合の傾向

バ行音「バ・ブ・ボ」が、パ行音「パ・プ・ポ」で発音される。

誤用例⑧⑨⑩⑪⑫⑬

カ行音の「カ・コ」が、ガ行音「ガ・ゴ」で発音される。

誤用例⑮⑯⑰

ダ行音の「ヂ」が、タ行音「チ」で発音される。

誤用例⑱

この場合、バ行音をパ行音で発音するという間違いが一番顕著に見られる。この間違いは、音調（音の高低）まで考慮すると、実はある特殊な環境で出現していることがわかる。2拍目がバ行音で上昇音調の場合、あるいは3拍目以降でも、そこにアクセントを置いて発音する場合、すべてパ行音として出現することが特徴的である。言い換えれば、両唇有声破裂音[b]は、アクセントを伴って出現する場合には、両唇無声破裂音[p]となって出現するということである。特筆すべきは、両唇音以外でもガ行音の子音である軟口蓋有声破裂音[g]をカ行音の子音である軟口蓋無声破裂音[k]で、ダ行音の子音である硬口蓋有声破擦音[dj]を、タ行音の子音である硬口蓋無声破擦音[ch]で間違っって発音する場合も、いずれもアクセントを伴って出現している点である。

周知のように中国語には、日本語にはない有気音と無気音の対立が見られるが、両唇無声破裂音も、軟口蓋無声破裂音も、それぞれ無気[p]と有気[p^h]、無気[k]と有気[k^h]という対立を持っている。しかし、ここで出現するのはあくまで無気音[p][k]であり、有気音[p^h][k^h]は出現しない。

アクセントを伴って発音

ぽーえきがいしゃ {p}o-o e ki gai sha

日本語の濁音・半濁音・清音を混同して発音する中国語母語話者の問題について
—誤用例、原因と、その矯正方法のヒント—

お・ばーさん op {p}a-a saN
し・ばかり ship {p}a ka ri
た・ぺることに tap {p}e ru
し・ぽーした ship {p}oo shi ta
い・け・ぷくろ ik kep {p}u ku ro
ほりこめさん ho ri {k}o me saN
ちちんの chi {ch}in no

その他

れんこーが reN {k}oo ga
こーかくな koo {k}a ku na

1.7. 清音を半濁音で発音してしまう場合の傾向

ハ行音「フ」が、バ行音「プ」で発音される。

誤用例⑱

じゅーごぷんごろ juu go {p}uN go ro

時間の言い方で、「分」を「ふん」と読んだり「ぷん」と読んだりすることがあることを受けて、こういった間違っただ発音になると考えられるが、逆に間違えることは起こらないことに注目すべきである。つまり、「1分、3分、6分」を「いっふん/いちふん、さんふん、ろっふん/ろくふん」というような読み間違いはあまり聞かない。

2. 考察

ここでは、清音ならびに半濁音と濁音の混同で一番多くみられた、バ行音をパ行音で発音してしまう間違いから、はじめに述べた2) について、ある仮説を立ててみる。

中国語母語話者は、日本語母語話者には無声子音[p]で、日本語の有声子音[b]を表そうとする場合が多いという特徴を前節で観察したが、有気音・無気音の区別を持つ中国語母語話者の場合、日本語の[b]を[p][p^h]のいずれで発音するケースもあってよいはずである。しかし、[b]の代わりに出現するのは常に無気音[p]であり、有気音[p^h]が出現しないのはなぜだろうか。

2つの破裂音[b]と[p]を比較した場合、日本語母語話者であれ、中国語母語話者であれ、より「破裂」が意識されるのは、おそらく[p]であろう。なぜなら[b]を発音する際には、ごくわずかだが、声帯振動を伴った声音が破裂以前に現れるのに対し、[p]ではそれが表れないからである。ただ、中国語母語話者にとって、より破裂を強く意識する[p]に、無気音と有気音の2つのタイプが存在し、この区別が語の意味を分けるのに大きく関わっているという事実がある。以上を整理すると、以下のような説が成り立つ。

2.1. 仮説

日本語母語話者：語の区別に両唇破裂音を利用する場合、破裂前の音を利用している。つまり、有声か無声かが大切である。

中国語母語話者：語の区別に両唇破裂音を利用する場合、破裂後の息の勢いの差を利用している。つまり、有気か無気かが大切である。

結果的に、以下の表に示すように日本語を発音する傾向が見られる。

	バ行 破裂を強く意識しない	パ行 破裂を強く意識する
日本語母語話者	[b]	[p]
中国語母語話者	[p]	[p ^h]

	ブ	フ
日本語母語話者	[bu]	[Φu]
中国語母語話者	[pu]	[p ^h u]

どちらも空気の音には違いないが、無声摩擦音と有気音を混同している。有声破裂音は有声部分より破裂そのものを特徴としてとらえ、結果として有声破裂音と無声破裂音を混同している。

日本語では、両唇有声破裂音[b]と両唇無声破裂音[p]の対立が語の意味を分けることに大きく関与している。ばんごう（番号）、びこう（備考）、ぶかつ（部活）、べんとう（弁当）、ぼうぎょ（防御）など。

しかし、語彙的には両唇無声破裂音[p]は、語中や語末には、「イッパン（一般）・ロップン（六分）・ニッポン（日本）」という具合に普通に出現するが、語頭には元来日本語の発音の際には出現しない音で、外来語の発音のみに用いられる。日本語の語彙の中で語頭の両唇音が意味の区別で問題になるのは「ブ・フ」の区別である。例えば「ブショウ（武将）・フショウ（負傷・不肖など）」という具合である。これは単に両唇有声破裂音[b]と両唇無声摩擦音[Φ]という2音素の区別ではなく、後接する母音[u]を含めての区別として機能している。おそらく、中国語母語話者はこの2つの言語的事実を無意識的に区別し、日本語の「ブ」は両唇無声無気破裂音[p]で、「フ」は両唇無声有気破裂音[p^h]と母音[u]で表現するようになったものと推察される。これは、そもそも中国語では両唇有声破裂音[b]と両唇無声破裂音[p]という2つの音素の対立より、両唇無声有気破裂音[p]と両唇無声無気破裂音[p^h]の対立が際立っており、語の意味を分かちことに大きくかかわっていることと関係があるのだろう。

結果として、日本語語彙に見られるバ行音を両唇無声無気破裂音[p]で表し、外来語語彙

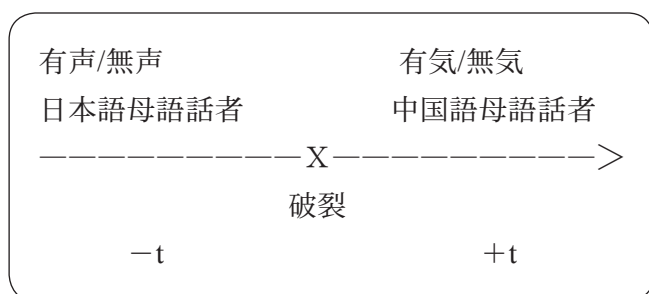
日本語の濁音・半濁音・清音を混同して発音する中国語母語話者の問題について
—誤用例、原因と、その矯正方法のヒント—

の平行音も同じく両唇無声無気破裂音[p]で発音し、八行音の中で、唯一両唇無声摩擦音である「フ」は両唇無声有気破裂音[pʰ]が担当するといった対応をするようになったと考えられる。

2.2. 仮説の援用

日本語を学習する中国語母語話者が日本語の清音・濁音の発音を混同して間違えてしまうという現象は、両言語話者とも破裂という現象を音声的特徴として捉えているが、この破裂に対するアプローチの仕方が、大きく異なるのではないかと考えられる。その結果、日本語母語話者には無声子音にしか聞こえないはずの音[p]で、日本語の有声子音[b]を表そうとし、日本人には無声子音の異音にしか聞こえない音[pʰ]で、日本語の無声子音[p]に対応させようとしているというわけである。これは、日本語学習者である中国語母語話者は、破裂音を出す場合に、常に有気音無気音の区別をつけようとすることに起因しているためと考えることができる。はじめにの3)で述べたこの問題の解決方法について、破裂という音声現象を時間軸上に置いて観察することから見出す。

破裂という音声現象を、時間軸において観察すると、日本語母語話者が、[b]と[p]の対立、つまり両唇有声破裂音と両唇無声破裂音の対立として、破裂以前の音の区別として認識しているものを、中国語母語話者は、両唇無声無気音[p]と両唇無声有気音[pʰ]の対立、すなわち破裂以後の無気音と有気音の対立として認識していることが見えてくる。



※-tは破裂以前、+tは破裂以後を示す。

それならば、中国語母語話者に日本語の破裂音を指導する場合、破裂以前を積極的に意識させることで解決できるのではないだろうか。

例えば、「ば」を発音する際には、[ba]ではなく[mba]、「べ」なら[be]ではなく[mbe]、「ぼ」なら[bo]ではなく[mbo]と発音するように、破裂が起こる前に両唇鼻音を出させて意識させるということである。実際の日本語では、両唇鼻音[m]+両唇有声破裂音[b]として発音するわけではないのだが、両唇有声破裂音[b]を発音する際には、必ずわずかながら出現する音だからである。

2.3. 破裂以前を意識して発音することの副産物

私が指導する日本語クラスには、中国湖北省出身の学生が比較的数量多く在籍している。彼らは概して日本語のナ行音とラ行音の区別がつきにくい、ほとんど区別がつかない。彼ら

の母語方言にこの区別がないらしいので、これ自体は仕方がないことなのだが、日本語習得には、ナ行音とラ行音の区別は不可欠である。この問題も破裂以前を意識させるというこの練習を使うことで私は以下のように対応して、これが現在のところ比較的功を奏している。

ナ行音 [na][ni][nu][ne][no] > [n:a][n:i][n:u][n:e][n:o]

ラ行音 [ra][ri][ru][re][ro] > [r:a][r:i][r:u][r:e][r:o]

※[:]は、前にある音を引っ張る/伸ばすという記号として使用

ナ行音は、母音に移行する前の鼻音、つまり歯茎から舌先が離れるまでの間、ずっと鼻音を持続することを意識させ、ラ行音は、舌先を硬口蓋に付けた状態で、鼻音にならないようにして舌先をはじく前の時間を長く保ち、と発音するように意識させるのである。

3. 結論

中国語母語話者は1) バ行音をパ行音で発音したり、夕行音をダ行音で発音してしまうという、破裂音の発音上の間違いを起こす傾向が見られ、これは、2) 日本語の破裂音を発音する際に意識する場所を誤っていることが問題なのであり、3) 破裂以後ではなく破裂以前を意識するという修正を加えれば、比較的簡単に濁音と清音の混同という問題が解消され日本語らしい発音に変わっていく、ということが予想される。

4. おわりに

本稿は新潟大学大学院現代社会文化研究科社会文化専攻国際日本文化分野所属の下記3名の学生を指導中に偶然発想を得て、中国語に対して全くの門外漢である私にいろいろな助言を彼らが与えてくれたことをベースに記したものである。お礼の意味を込めて、ここに彼ら3名の名前を記したいと思う。

博士前期課程2年 顔 歆

博士前期課程2年 朱 曉暉

博士前期課程1年 楊 美

5. 参考文献

佐藤もも (2013) 「中国北方方言話者における日本語の夕行ダ行音の知覚」『福岡大学大学院論集』

——— (2013) 「中国北方方言話者における日本語の有声・無声破擦音及び摩擦音の知覚」『2013年度 日本語教育学会秋季大会 予稿集』

朱 春躍 (2010) 『中国語・日本語音声の実験的研究』くろしお出版

杉藤美代子 (1997) 『一日本語音声2ー アクセント・イントネーション・リズムとポーズ』

日本語の濁音・半濁音・清音を混同して発音する中国語母語話者の問題について
—誤用例、原因と、その矯正方法のヒント—

三省堂

高田三枝子 (2011) 『日本語の語頭閉鎖音の研究—VOTの共時的分布と通時的変化—』 くら
ろしお出版